

ネクスト通信

発行日

令和2年10月9日

発行責任者

前田 潤悦

編集者

井上 結季菜

尾池 優花

鳩原 司

しもふね七福神巡り

九月二十一日(月)にひだまりでは、皆揃ってコロナ終息のお参りに行ってきました。

私達の事業所がある下総地区にはそれぞれの七福神が祀られた場所があり、しもふね七福神巡りを行いました。この日は曇り空でしたが、準備を終え車に乗るとお参りに向かうのにフクフクされているのか根本さんはニコニコされ嬉しそうに声を出されています。北野さんも両手を上げて楽しみにされていました。

まず向かったのが恵比寿様を祀っている瑞栄山楽満寺です。楽満寺に居たお地藏さんは皆マスクをつけコロナウイルス感染対策ばっちり。マスクをつけたお地藏さんを見て石毛さんは手を合わせていました。今年度はコロナウイルスの影響もあり、毎年恒例の外出やイベントが次々に中止となっていましたので早くコロナウイルスが収束してまだ皆で外出出来ることをお願いされているようでした。恵比寿様の前で記念撮影をしたあと、富澤さんに声をかけて本堂に向かうと、富澤さんも鈴木さ



お地藏さんに手を
合わせ折るような石毛さん

んも一緒に手を添えられお堂の方をじっと見つめており、コロナウイルスの終息をお願いされていました。次に向かったのは大黒天様を祀られている南城山常福寺です。常福寺はネクスト名木小の皆は普段のお散歩でも通っているため富澤さんは車から降りるとすぐに本堂に向かわれていました。根本さんは周りの景色を眺めてニコニコ。沢山の山外の空気を吸ってとても気持ち良さそうでした。



大黒天様と同じ
ポーズをする北野さん

まだまだ世間はコロナウイルスの影響が強く、マスクの着用が難しいひだまりでは外食や人が多く集まる施設への外出は難しいのが現状です。しかし、新しい生活様式が定着しつつあるなかで少しでも楽しく毎日過ごして頂きたいと思い、七福神巡りを始めました。早く今まで通りの生活に戻るように、職員一同も毎日の検温、手指や備品など手の触れる部分の消毒の徹底などを行い、元気に活動して行きたいと思っております。笑顔で疫病退散となるといいですね。(深山)

大黒天様の前で写真を撮ると北野さんは片手を上げて大黒天様と同じポーズをしてくれました。それを見ていた鈴木さんも大笑い。今回は近場でのお参りでしたが、ひだまりの皆が居ればどこでも笑顔が絶えませんね。

利用者さんの紹介

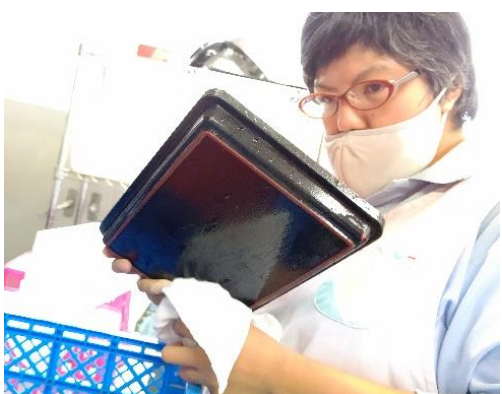
戸村美紀子さん

今月の利用者さんの紹介は、手仕事科の戸村美紀子さんです。

美紀子さんは、パン販売の日は、お守りのペンダントを首にかけ、笑顔で接客を行います。パン販売で気合いを入れるためにお守りのペンダントをしているのだから。パン販売では「いらっしやいませ」と元気に挨拶をし、お客様のために買い物かごをお渡ししていただきます。

また、毎日お掃除やお弁当のお片付けも自ら進んで行ってくださっています。戸村さんがモップを掛けてくださっている二階の廊下はいつもピカピカです。お弁当のお片付けでは、職員が洗ったお弁当箱を丁寧に拭いて下さいます。いつもありがとうございます。

明るく元気な美紀子さん。手仕事科のみなの頼れるお姉さんです。

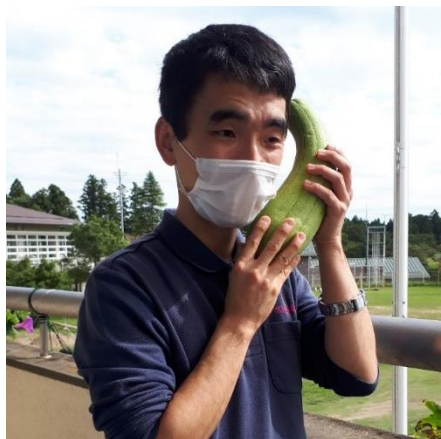


へちま、こんなに大きくなりました！

手仕事科では大きなへちまが収穫できました。みんなの顔より大きなへちま。今年の異常な暑さにも、たくさん続いた雨にも負けずに大きく育ってくれました。手仕事科で大きなへちまを収穫してくれたのは寺本さん。寺本さんの顔よりも大きなへちまに嬉しそうでした。

また、ひだまりでは収穫をして、へちま水や、へちまのたわしを作ったそうです。いきなりですが、ここでまめ知識を一つ。

へちま水はかつて美人水ともいわれ、江戸城の大奥女中の化粧水としても使われていたそうです。へちま水のうれしい効能は、ビタミンCがたっぷり含まれており、美白や抗炎症作用などがあるそうです。また、へちま水は飲料として利尿作用や腸内環境改善、血糖値の低下等の健康への効果を発揮してくれるといわれています。このように、万能でうれしい効果がたくさんありますね。ぜひ、来年はお家で育ててみるのもいかがでしょうか。



大きなへちまをお顔の横に並べる寺本さん

祝・富澤将利さん受賞

九月二十九日から十月五日まで、千葉さごう地階ギャラリーにて、第四十七回手をつなぐスポーツの集い絵画展が開催されました。残念ながら手をつなぐスポーツの集いは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の安全を考慮し、開催が中止になりましたが、絵画展は行いましょうとのことと、今年も開催されました。応募総数二百三十四作品と、これまでにない応募作品の中から、ネクスト名木小では富澤将利さんの作品が努力賞に選ばれました。作品の題名は「勝利の大歓声」。ひだまりでは初めて水彩色鉛筆を使用したそうです。富澤さんの得意なたくさんのおまを置いて、自分の手の形を型取り、「ガッツポーズ」を描きました。ちなみに、作品タイトルに入っている「勝利」という言葉と将利さんの名前を掛けた渾身の力作です。受賞おめでとうございます。



富澤さん・作
「勝利の大歓声」

名木小運動会準備

十月二十三日（金）に名木小で運動会が開催されるため、着々と準備を進めています。左の写真は、運動会で踊る「パブリカ」の衣装作りの様子です。それぞれの衣装にシールを貼り、女の子はかっこよく、女の子はかわいく、世界に一つだけの衣装を作っています。

運動会まであともう少し・・・。運動会が待ちきれず楽しみな気持ちを歌に乗せ、今日も名木小では元気にパブリカの歌声が校庭に響き渡っています。



編集後記

秋と言ったら読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋。楽しみが多い季節がやってきましたが、私は秋と言ったら食欲の秋。私、茨城県民なのですが、秋と言ったら、やっぱり「焼きいも」。大好きでスーパーに行くとき必ず買ってしまいます。その日のうちに丸々一本食べてしまいます。茨城県は「べにはるか」というさつまいもがとってもおいしいんです。また、べにはるかのかの干しいもも有名なので是非一度食べてみてください。

それはさておき、食欲の秋つながりで、最近小関彩佳さんと朝ごはんは何を食べたのかお話をします。小関さんから「朝食食べたのー?」と聞かれます。私は、「ご飯とパンとお味噌汁と・・・」なんて、つつい母親が毎朝作ってくれるご飯のお話をしてしまいます。

毎朝、朝早く起きて家族のためにご飯を作ってくれるお母さんは本当にすごいです。ご飯を毎日食べていて、苦手なものもあるかもしれませんが、今の時代は、苦手なものも食べなくても他のもので栄養を補えてしまいます。ですが、栄養を考え味覚でも視覚でも食卓を彩って、ごはんを作ってくれているお母さん。厨房さん。ご飯を作ってくれる素敵な方々に感謝の心を忘れずに、いただきますよね。(尾池)

10月の予定

- 16日(金) 古紙回収
- 20日(火) パン販売(常福寺)
- 23日(金) 名木小運動会
- 24日(土) 開所日
- 25日(日) 休所日

11月の予定

- 6日(金) 避難訓練・古紙回収
- 7日(土) 開所日
- 10日(火) パン販売(名木小)